

議会だより

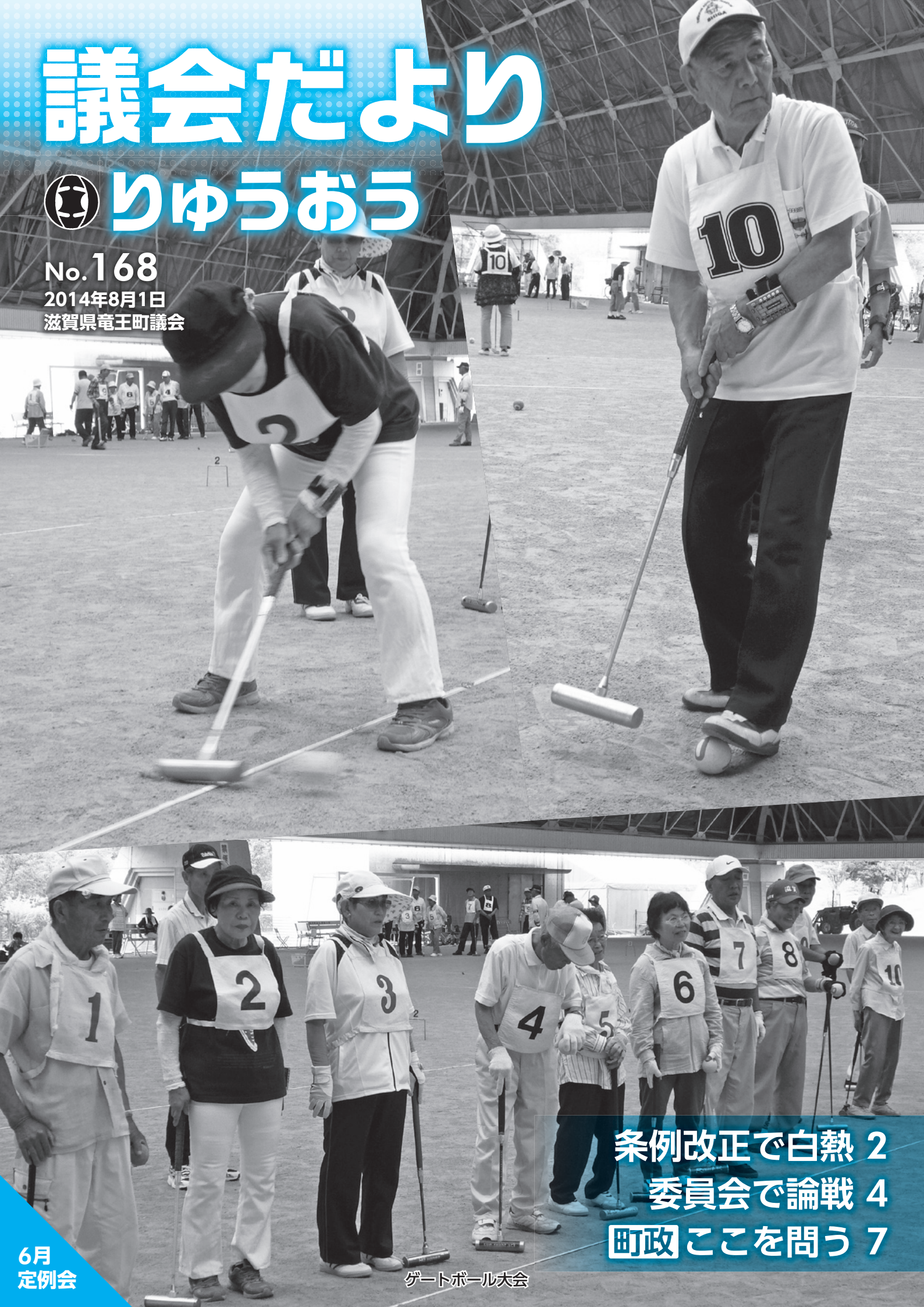


りゅうおう

No.168

2014年8月1日

滋賀県竜王町議会



条例改正で白熱 2
委員会で論戦 4
町政ここを問う 7

6月
定例会

ゲートボール大会

平成26年 第2回定例会

平成26年第2回定例会は、6月5日から19日までの15日間で開かれました。今定例会では、専決処分を含む条例5件、補正予算2件、請願1件、意見書1件、その他1件の10件が提案され、すべて承認・可決・採択・同意されました。

ほかに、平成25年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、竜王町農業委員の推薦および各委員会活動の報告がありました。

条例関係

竜王町水防協議会
条例の一部を改正
する条例

竜王町の水防計画その他水防に関し重要な事項を調査審議する水防協議会の委員に、水害による被害の軽減や災害時における迅速で円滑な対応を図るため、新たに委員を増員するため等の一部改正です。

竜王町税条例および
竜王町税条例の
一部を改正する条
例の一部を改正す
る条例

消費税率および地方消費税の引上げとそれに伴う現下の社会・経済状況を踏まえ、町民税、法人税、固定資産税、軽自動車税の改正を内容とする地方税法等の一部を改正する法律が平成26年3月31日公布され、それらに伴う改正規定がそれぞれ施行されることによる一部改正です。
(一票差で可決)

竜王町福祉医療費
助成条例および竜
王町老人福祉医療
費助成条例の一部
を改正する条例

ひとり暮らし高齢者寡婦および低所得老人にかかる滋賀県福祉医療費助成制度が改正されたこと等に伴い、現在の福祉医療費助成制度を堅持しつつ、世代間の公平性を考慮し竜王町福祉医療費助成条例を一部改正したものです。

補正予算

一般会計

補正予算(第1号)

当初予算の歳入歳出予算額61億2500万円に、9812万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ62億2312万9千円とするものです。

補正予算の主な概要は次頁に掲載しています。

特別会計

水道事業会計

補正予算(第1号)

収益的支出の既決予定額3億8132万3千円に380万円を追加し3

億8512万3千円とするものです。

補正予算の内容は、今年5月16日に発生した弓削地先の配水管漏水事故に伴う修繕費、路面復旧費および人件費です。



弓削地先配水管漏水と給水の様子

第2回定例会

問 歳入における老人福祉施設の入所措置費は、どういったものか。また、この施設には何人の方が利用されているのか。

答 この負担金については、新たに施設を利用される方の個人の負担金となっています。施設は県立安土荘で、現在2名の方が入所されており、新たに1名の方が増え、計3名となります。

問 消防出張所の土地造成工事について、構造や詳細についてどのようになっているのか。

答 L型よう壁が東側、北側、一部西側を含んで27.1m、南側は水路があるため水路と西側一部を含め100m、購入土8349m³、耕土は剥ぎ取りします。

主な意見として
電算管理用備品として1968万3千円が増額されているが、来年10月よりクラウド化されると聞いている。無駄な部分がないよう十分工夫し、考慮されたい。

平成26年度一般会計補正予算(第1号)の主な概要

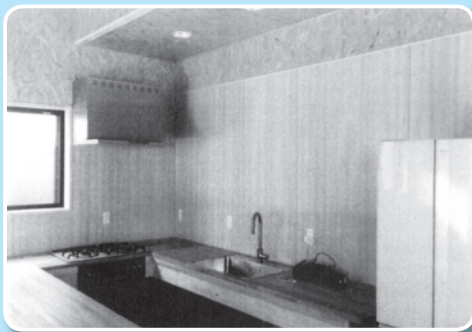
(単位 千円)

歳入

老人福祉施設入所措置費負担金	979
経営体育成支援事業補助金	8,356
財政調整基金繰入金	48,648
緊急防災減災事業債	25,400
公共施設火災復旧事業債	2,900
前年度繰越金	11,672

歳出

新電算室環境整備等工事設計業務委託料	1,275
新電算室機器移設等実施設計業務委託料	2,160
(仮称) 竜王消防出張所整備事業	25,416
電算管理用備品	19,683
戸籍住民登録事務用備品	13,500
住基ネット用サーバ	6,088
介護保険用サーバ	4,513
経営体育成支援事業補助金	8,356
定住促進住宅リフォーム助成事業助成金	1,793
総合庁舎別館火災復旧工事設計業務委託料	3,726



リフォーム後



リフォーム前

定住促進住宅リフォーム助成事業助成金

防災拠点として、訓練スペースも確保



(仮称) 竜王消防出張所整備事業

災害復旧工事を待つ総合庁舎別館



総合庁舎別館災害復旧工事設計業務委託料

福島県新地町視察研修

5/19
～
21

新地町の復旧・復興の状況について、ならびに減災に向けての取り組みを、現地の状況を視察し研修を行った。



新地町庁舎から太平洋をのぞむ



台湾赤十字の寄付により建設された被災高齢者共同住宅



集団移転地の住宅新築の様子

新地町の被害の状況

- ・津波浸水面積 9.27km²
- ・津波による罹災状況
(町世帯数 約2,660世帯)
全 壊 467世帯
大規模半壊 30世帯
半 壊 19世帯
- ・死者行方不明者数 116名
(町人口 約8,400人)

総務産業建設常任委員会の活動

庁舎等の管理体制
と緊急時の対応に
ついて

6/12

竜王町総合庁舎をはじめ、一部の福祉・保健施設について、緊急発生時の初動体制、施設の劣化状況、今後必要と見込まれる改修について町執行部より資料の提示と説明を受けました。

主な質疑応答

問 総合庁舎の給水について、先日またまた漏水工事をされていたが、布設替えなどしないのか。

答 今後、計画的に進めていく。

問 総合運動公園の改修等で、受変電設備の更新が見込まれるが、受変電設備が小さくてライトが暗いため、今度の改修で大きくすることか。

答 そのように計画していく。

学童保育所運営基準について

6/13

国の「放課後児童クラブガイドライン」で学童

保育所の運営等の基準が定められていたが、今回の児童福祉法の改正により、竜王町で条例を定めていくことになった。

今後の動き：

＊竜王町のニーズ量の見込み検討

＊設備及び運営に関する基準については竜王町子ども未来会議にて検討・決定する。

＊その基準条例については9月議会に提案予定。

＊子ども子育て支援事業計画策定は平成27年3月の予定

＊平成27年4月 子ども子育て支援新制度施行

主な質疑応答

問 まつぼっくり児童クラブの新しい施設では、50人の定員だが、今後希望者が増加した場合の事を考えているのか。

答 一人当たり1.65㎡の面積を確保していくには、50人が定員になるが、今後増えることも想定されるので、施設も含めて考えていく必要がある。

問 竜王町子ども未来会議にて検討・決定するというが、予算が伴うことに対しては、執行部で決めることであつて、子ども未来会議には、決定権はないのではない

か。

答

今後の状況について子ども未来会議でしっかりと議論をして

もらった提言を受けながら町としても方向性を見定めていきたい。



竜王小学校区 学童保育所

請願の審査

6/13

請願の主な内容は

今回提出された請願書は、手話が音声言語と対等に言語であることを国民に広め、きこえない子ども・大人が手話を身につけ、手話で

学べ、自由に手話が使える、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした（仮称）手話言語法の制定をめざす内容でした。（全会一致で賛成）



東近江、日野、竜王が合同で行う手話講座の様子



地域活性化特別委員会の活動

滋賀竜王工業団地の進捗状況について

6/12

平成26年度の主な発注予定工事計画は、県土地開発公社は、岡屋交差点改良工事、工業団地敷地造成工事、国道477号拡幅工事などであり、滋賀県企業庁事業は、工業用水・上水・下水道の推進管工事等である。竜王町は、多機能グラウンド整備工事、町道仁殿線・岡屋仁殿線、谷川線整備工事、工業用水・上水・下水道整備工事である。

主な質疑応答

問 工業用地の販売計画で、販売先企業の審査を行う上で、経営調査などどのように行うのか。

うのか。

答

募集要項の中で企業の経営状況や資金調達の方法などを調査し優良企業を決定する。

問

国道477号拡幅工事期間中は片側通行か。またその告知はどのようにするのか。

答

掘削・盛り土道路であることから迂回は難しく片側通行はやむを得ない。通行をスムーズに流すために、早期に告知を行う。

雪国まいたけ

事業者において工場用地の有効活用に向けた検討を継続して行っているが、計画の期限内に農工法に則した着実な取組を重ねて要請した。



岡屋交差点改良工事

問

計画期限内に工場建設は可能か。事業者も精力的に取り組んでおり、重ねて要請していく。

答

計画の再延長はないとの強い姿勢で臨むべきである。

答

一層の進展がないままでの再延長は行わない。



平成26年度竜王町議会報告会は、「私たちのまちづくり『教育・福祉』を考える」と題し、5月24日（土）の午後7時30分から午後9時まで、竜王町公民館ホールで開催し、55名の参加をいただきました。

議会基本条例推進 特別委員会の活動

今後の議会活動に貴重な意見が続々と！

アンケートにて多くの方から意見や提言を頂きました。
今後の議会活動にいかしてまいります。

議会として、竜王町の重要課題が何であるかを報告するべき。

議会として行政に対して要求したこと、方向性を修正したことなどを報告するべき。

町政報告会とのすみわけが難しいと思うが、町内数カ所で開催した方が地域の住民が参加しやすいと思う。

町事業が数多くある中で、様々な意見を取りまとめ報告していて、よく理解できた。

ラジオ体操を竜王町全体のものとし、高齢者で歩行困難・車に乗れない方は有線放送などで1日何回か放送し、自宅でもできる健康づくりを考えるとよい。

参加が非常に少ない。周知不足なのか、または行政への興味が低い？ 不満がない？

町民人口増加の具体的な取り組みをぜひよろしくお願いします。

みなさんの＼声／を町政に届けます



一 般 質 問

7 議員が 9 問

- ① 緊急時における住民への通報、連絡体制の構築について
- ② 介護保険給付費の抑制について
- ③ 日野川堤防は大雨に耐えられるか
- ④ まちの活性化・まちづくりと新幹線新駅誘致について
- ⑤ アグリパーク竜王の道の駅化について
- ⑥ 公の施設での雨水利用について
- ⑦ 子どもの医療費助成制度の拡充について
- ⑧ 人口減少が、町政、町民に与える影響と対策について
- ⑨ 「消滅する町竜王町」の報道について

小森 重剛 議員
内山 英作 議員
内山 英作 議員
内山 英作 議員
山田 義明 議員
貴多 正幸 議員
古株 克彦 議員
松浦 博 議員
菱田 三男 議員



小森 重剛 議員

問 緊急時の有線放送の活用は？

答 町独自の情報システムを検討する！

問 台風など、自然災害が予想される時季をむかえ、警戒情報、避難準備情報、避難指示など緊急

時における諸々の情報伝達方法をどのように構築されるのか。

また、今後も有線放送を情報伝達の第一手段とされるのであれば、町として有線放送とどのような関わりを持っていかれるのか。

答

今年度、「災害情報システム最適化調査」を

実施し、有線放送の現状も含め総合的な観点から町独自の情報システムを検討する。

町内の情報放送機能は絶対的かつ不可欠要素であると判断する。

有線放送農業協同組合とは今まで以上に連携をとり、より身近で親しみやすい町の情報伝達手段になっていただきたいと考えている。



復元した有線放送局

問 介護保険給付費抑制できる？

答 介護予防事業と適正化事業の実施

問 平成26年度竜王町介護保険特別会計の予算総額は、8億3960万円で前年度対比20.7%増である。因みに、竜王町と同様にドラゴンサミッ



内山 英作 議員

答 竜王町で介護給付費を減額させることは現実的に難しいが、抑制のため次の取り組みをしている。

① 介護給付等適正化事業
② ふれあいプラザでの「生涯現役事業」
③ 「地域ケア会議」の開催

トへ参加されていた鹿児島県龍郷町の同会計の前年度対比の増加率はここ数年、平均1%である。

竜王町での介護給付費の減少とその施策の可能性は？



「生涯現役事業」パッチワークの様子

問 日野川堤防大丈夫？

答 堤防強化に向け県へ要望していく

問 昨年9月の台風18号による大雨により、弓削地先で日野川堤防が決壊寸前で難を逃れた。

質の成分構成は、砂を主体に粘性土が混入し、部分的にレキが混じっている。

堤防を越水しないようなダム放流の調整はできるのか。堤防の土質の成分構成はどうか。今後の

今後において、一日でも早くさらなる堤防強化対策を実施してもらえよう県へ要望する。

台風襲来による大雨に堤防は耐えられるか伺う。

答 日野川

ダムの放流による調整の効果は約1割程度で、洪水調節機能は低い。

堤防の土



決壊寸前の日野川堤防

問 新幹線新駅誘致を

答 篠原駅付近がベスト

問 まちの活性化とまちづくりの一つの手段として新幹線新駅誘致が考えられる。

現在、篠原駅の駅舎とその周辺道路等の整備が進められている。

また、篠原駅近くを新幹線が走り、このあたりが京都～米原間のちょうど中間地点で、周辺には観光客を呼び込む文化歴史的資源が多くある。

新幹線新駅誘致の考えは？

答 新幹線新駅推進の方向性については地域振興、住民利便性の視点もさることながら、広域的な課題と合せ、近隣市町との連携が不可欠である。今後はさらなる情報収集に努める。

2市2町では、何としても東近江圏域へと言うことを首長間で確認しているところであるが、勿論私は篠原駅付近がベストと思っている。



JR篠原駅付近を走る新幹線

問 アグリパーク竜王の道の駅化は？

答 駐車場確保が課題



山田 義明 議員

問 (株)みらいパーク竜王は平成24年に町にアグリパーク竜王の道の駅化についての検討を依頼している。今までに町におい

て検討した内容はどのようなか。また、どのように解決しようとしているのか。

答 道の駅として登録するためには、24時間利用可能な駐車場とトイレの設置、観光情報等の提供

施設の設置等が条件となっており、これらの設置が可能かどうか検討した。また点在する施設の夜間・閉館日開放による施設内警備・治安対策、大型車の駐車場確保、国道477号における交通対策等の検討を実施した。駐車場確保には用地取得が必要で

あるが、用地は農用地区域内にあることから今は農地転用ができない問題がある。今後は、道の駅化による地域住民のメリット・デメリットを調査研究し、解決に向けて関係機関と協議を進める。



にぎわうアグリパーク竜王



貴多 正幸 議員

問 公の施設での雨水利用は？

答 計画時に検討

問 竜王町において、雨水を有効利用した公の施設があるのか、また、エコロジーの観点から、災害時等での雨水の有効利用について、町の考えは。

答 竜王町においては、雨水を有効利用した公の施設はないが、公の施設は、災害時の第2次避難所としての機能もあるもので、屋根に降った雨水を地下タンク等に貯留し、トイレの洗浄水、空調の循環水、植木の散水、非常時の初期消火や防火用水として利用することで、給水ラインへ全面的な依存から転換することができると考える。

今後、公の施設の維持修繕を計画的に実施する段階で、雨水の利用についても含めて検討する。



新地町役場の男子トイレ





古株 克彦 議員

問 子どもの医療費助成 制度の拡充は

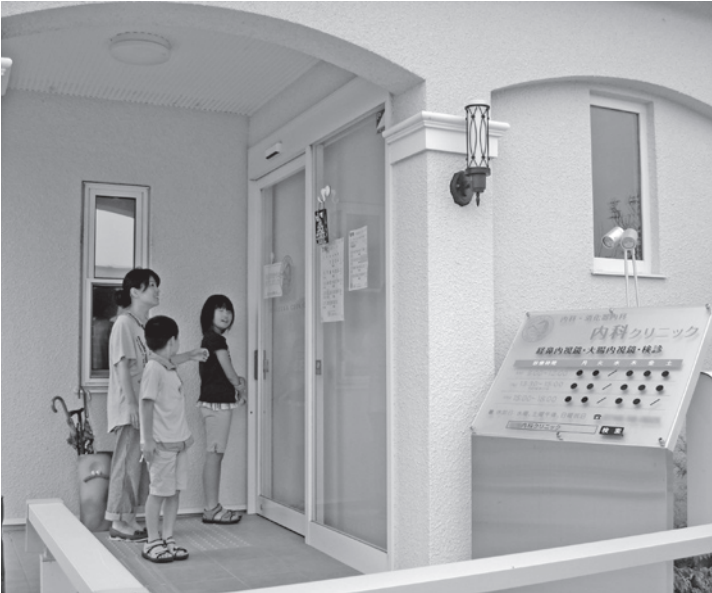
答 財源の捻出が課題

問 竜王町の子どもの医療費助成は、通院については就学前、入院については中学校卒業までが無料で所得制限なしである。

近隣の市町が竜王町以上の助成をする中、現行制度から拡充する考えはないか。

答 県下の市町の制度内容は、通院、入院を小学3年まで助成するパターン、小学校卒業まで助成するパターン、中学校卒業するまで助成するパターンの3つのパターンがある。

ある。例えば、小学3年までを助成すると150万円、小学校卒業まで2200万円、中学校卒業まで助成すると3000万円の経常的な多額の費用が必要になることから、住民福祉部門内での施策の調整に留まらず、町全体での事業の見直しによる財源の捻出が目下の課題である。



診察を待つ子ども達



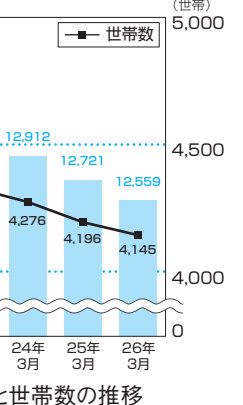
松浦 博 議員

問 人口減少が町政・町民 に与える影響は？

答 最重要課題として
取り組む

この6年間で約1000人も人口が減少している。第五次竜王町総合計画の目標から大きく乖離

していることから、次の4項目について問う。



答 企業従業員の住宅確保を見据えた住宅施策を推進すること

で平成32年の将来人口は14000人を見込んでいる。

問 万が一、人口が減少すれば町政や町民にどのような影響があるのか？

答 社会保障費が増大し、町の財政は圧迫される。国民健康保険や介護保険の被保険者負担が増える。

問 納税義務者が減ることに対する自主財源の確保は？

答 平成25年度の個人町民税納税義務者は、およそ6400人で納税額は約6億3千万円となった。当町の人口動態から生産

年齢人口が減少すると、納税額は減少すると推測される。自らの財源確保には、企業誘致による固定資産税の増収と、住宅促進を進めて納税義務者を確保することで町税収入の安定を図る。

問 早期対策への取り組みは？

答 人口減少への対策は重要課題であるが、進んでいないのも現状。住宅用地の取組みに、町が主導的に働きかけながら具体的に取り組む。



菱田 三男 議員

問「消滅する町」の報道!!

答 集合住宅対策地域の計画実現へ努める

問 某新聞報道によると「消滅する町」として我が町もあげられている。

第五次竜王町総合計画では1万4千人のまちづくりをうたっており、今日までまちづくりや住宅問題に質問をしてきたが、今日現在、抜本的な改善はみられていないように思う。このことについて町長はどのように考えているのか。

答 集合住宅対策地域の計画実現へハードルを越える覚悟を強く持ち、何としても住宅環境を整えて行くのだと今回の報道で自分自身を鼓舞している。

新聞報道内容に対して



町内の集合住宅

覆すことのできる要素が本町にはたくさん残っている」と判断している。増加に転じる住宅対策等、今日まで進めて来ていることを着実に進めるとともに、これまでの評価点検も踏まえながら、さらに行政が一丸となって邁進する。

時事往来 ～議長の足跡から～

全国研修会に参加

去る、5月27・28日にわたり、東京で行われた第39回全国町村議会議長・副議長研修会は、「これからの町村議会のあり方」をテーマに開催されました。

一日目は、「住民と歩む地方議会」と題した基調講演の後、シンポジウムでは「これからの町村議会のあり方」について事例発表と討議が行われました。

これらを通して、議会改革に大いに貢献してきたのは私達の町のような小規模議会であったと感じました。

また、住民に「近づく」だけではなく住民に「寄り添う」ことが、今日の地域経営の閉塞状況

を突破できることになり、ひいては地域問題の解決へとつながることが大切であることを参加者が認識いたしました。

二日目は、「地域づくりを考える」、「日本の政治経済の現状と今後の行方」と題した二つの講演があり、二日間の研修を終えました。

今後、政策提案も含めた議会改革に取り組んでまいりたいと考えております。

研修会の様子



シリーズ いきいき人生

弓削在住 なかじま みつお
中島 光雄 さん

趣味に溶け込み 四十余年

盆栽は、自然の姿を生かし日常生活と、共に生きる大きな力があります。

若いころ、竜王の山々、鈴鹿山系、比良山系に山登りと山菜とり、ときには旅先での珍しい手のひらに乗る



自宅での盆栽の手入れ

ほどの、可愛い木を買い求めて持ち帰り、植木鉢に移した松は年輪を重ね、太く青々と逞しく成長して行きました。

一本一本にご当地の思い出があり感謝と、懐かしさが蘇ります。

盆栽はその木の特性と自然を生かして育てることに自分独自の満

足感を楽しみます。

もし、この松を持ち帰らなかったら、大地に深く根を張り大きく成長していると想像する時、木に対して申し訳なく、かわいそうにも思います。

一方、新しい年を迎える朝「さあ出番です」床の間の松のみどり、時には演壇の脇役に置かれると、雄大な容姿美しさを表して見る人の心を癒してくれます。老いる人生……今日も元気でですか？松の葉のみどりに手を添える、変わりないかなあ……「無言のかたらい」としてその実感が、こころのやすらぎであり、意義ある余生を楽しみに、明日への生きがいと活力として過ごしております。

編集後記

命を守った 冷静な判断

総務産業建設常任委員会の視察研修の途中、たまたま食事に訪れた食堂でのこと。

遅い昼食であったためか、客足も途絶えたことから店主のお話を聞くことができました。釜石市内の食堂で、目の前には甲子川が流れ、その向こうには新日鐵住金釜石製鐵所がみえる場所です。市内中心地より少し高台に、その食堂はあります。

店主いわく、3月11日、釜石市のパチンコ店に居たそうです。その時、大地震に慌てて店内にいた人達は駐車場など外へ飛び出しました。揺れも収まり、店員が「もう大丈夫ですか

計報

西村公作議員の計報の知らせを受け、我が耳を疑いながらも、大きく落胆したものです。我々第15期議員、後半の2年間、広報委員長としてご活躍いただき

けるものと思っていた矢先であり、読みやすい議会だよりを目指して改善を進めている最中でもありました。特に新任議員の中では、屈託のない議論を

述べ合い切磋琢磨しながら、町民皆様に信頼される議員となるよう努めておられました。誠に残念でなりません。西村公作氏のご冥福をお祈りいたします。

ら、店内にお戻りください」と誘導し、お客さんたちは店内に戻られたそうです。

店主は「低い地域で津波の恐れがあるので、危ないから逃げよう」と促したそうですが聞き入れてもらえず、止むを得ず自宅食堂に戻られました。

先に身重の娘さんを高台のお寺に預け、奥さんや家族を迎えに再び自宅食堂に戻ると、道路を挟んだ川から津波が迫ってきたため、店のシャッターも閉めずに身一つで避難されました。

シヨックだったのは、パチンコ店は津波に流され、店内にいた人達はいまだ帰ってこられていないそうです。あの時、誘導が適切に行われていたとしたら……と哀しみとも怒りとも判らない表情で、

「3.11」を忘れられない、伝えたいの思いで語られていました。店はカウンターより高い位置まで津波が襲い、残された店内はヘドロと塩水で見る影もなかったそうです。

食堂に復活するまでには、多くの支援を受けながらも、「食堂をやろう、元通りの店にしよう」と、家族みんなで頑張ってきたおかげで、こうしてお客様を迎えることができています。」と語られました。

生々しい体験談をお聞きしたことでさらに「東北ガンバレ！」町民の皆様にもお伝えしたく、掲載しました。

議会広報特別委員会
委員長 松浦 博
副委員長 内山 英作
委員 竹山 兵司
岡山 富男
古株 克彦